

「宗谷地域医療従事者確保対策事業に係るアンケート」の結果について

アンケートの主旨・概要

北海道宗谷総合振興局保健環境部保健行政室では、平成29年度から都市部の医療従事者等へ向け、宗谷の魅力発信を行っており、「ホームページ」や「パンフレット」を作成してきた。

今後の事業の実施にあたり、より効果的な情報発信のあり方を検討するため、アンケート調査を実施した。

アンケート対象

市町村・薬局・医療機関・介護サービス事業に従事する各医療従事者等

アンケートの内容・結果について

回答:59件

(1) 職種について(1つ選択)

医師	薬剤師	看護師・准看護師	保健師	助産師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
4	5	22	11	1	2	1	0
事務職	介護支援専門員	管理栄養士					
11	1	1					

(2) 勤務地について(1つ選択)

稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	豊富町	礼文町	利尻町
22	1	1	0	11	6	12	5
利尻富士町	幌延町						
0	1						

(3) 出身地について(1つ選択)

宗谷管内	道内	道外
30	24	5

(4) 年齢について(1つ選択)

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
0	6	11	20	17	4	1

(5) 性別について(1つ選択)

男性	女性	その他
20	39	0

(6) ホームページ等の発信内容(複数選択可)

医療の情報	地域のイベント	趣味に関する情報	奨学金制度	交通情報	生活情報	地域の魅力	その他
42	10	4	29	11	25	38	2

その他の内容

- ・ 地域で働く医療従事者のこと。都市部から宗谷地域でいきいき働く人のことを発信したらいいのではないか。理由(地域の魅力、働き方、地域で働く志があるから就業するので)があるから都市部から宗谷地域に移る。だから、先述した対象者を取り上げられると、(6)の発信内容はほぼ網羅されるだけでなく、宗谷地域で従事する医療者のリアル(生活・暮らし)も発信できるのではないかと。魅力的な地域と人があってこそ、宗谷地域医療従事者の魅力なんだと思う。
- ・ 卒後教育について

(7) 情報の配布先について(複数選択可)

医療従事者養成校	宗谷管内医療機関等	宗谷管内市町村	主要駅	周囲に養成校の多い駅	周囲に病院の多い駅	コンビニ	移住イベント
48	8	8	6	15	4	14	17
物産展	どさんこプラザ	空港	宗谷管内観光施設	宗谷管内道の駅	ナースセンター	その他	
5	7	3	9	8	12	3	

その他の内容

- ・ 道外の医療従事者養成校
- ・ SNS
- ・ 高等学校

(8) 宗谷管内以外での勤務経験について(1つ選択)

あり	なし
33	26

(9) 今の職業を選んだきっかけについて(1つ選択)

身近(親・親戚など)に医療従事者がいたから	過去の経験(闘病生活・リハビリ等)があったから	給与待遇面でよいと考えたから	身近な人(親・親戚・先生など)からの勧めがあったから
13	1	3	13
人の役に立てる・人と関わる仕事をしたかったから	特に理由はない	その他	
24	2	3	

その他の内容

- ・ 医療従事者との出会い
- ・ 自分の家で最期を迎えたいと感じていたから
- ・ 自分に適した職種が十分に分からず、事務の仕事を選り

(10) 今の職場を選んだきっかけについて(1つ選択)

住み慣れた地域で働くため	勤務先の給与待遇が良いと考えたため	転勤のため	地域医療に貢献したいと考えたため
20	4	3	13
ワークライフバランスが取れそうな生活が送れそうと思ったため	特に理由はない	その他	
5	7	6	

その他の内容

- ・ 声を掛けてもらったから
- ・ 奨学金貸付制度があったため。
- ・ 上司の評判や指導者として尊敬できたため就職を決めた
- ・ 募集がある中で、海がありひらけた土地だと思ったから
- ・ 転勤もあるが、健康面により選択(希望)する。
- ・ 結婚のために移住

(11) あなたの職種は足りていますか?(1つ選択)

足りている	足りていない	わからない
20	35	4

(12) 職場における医療従事者の確保について(複数選択可)

就職サイトの掲載	職場ホームページでの募集	医療従事者向けイベントへの参加	職場紹介のパンフレットの作成	奨学金制度の実施	特に何もしていない	わからない	その他
26	33	13	9	26	8	4	4

その他の内容

- ・ 養成校での就職説明会への参加
- ・ 養成校実習の受け入れ、就職説明会への参加、養成校教員との情報交換
- ・ 養成校や大学などへのアプローチ。積極的に実習生を受け入れる。
- ・ 北海道のホームページでの募集。公共職業安定所に募集をしているかもしれない。

(13) 医療従事者確保対策事業を御存知ですか？(1つ選択)

知っている	知らない	実施していることは知っているが、具体的なことはわからない
11	33	15

(14) 宗谷地域の医療に欠けていると思うことを教えてください。(自由記載)

- ・ 少ない医療資源をどう活用していくかを全く検討されていない。医師が足りない、診療科が足りない...とずっと言い続けても意味がない。
- ・ 人(医療従事者の数)。
- ・ 在宅支援診療所を標榜していても、実際には機能していない医療機関が多いと感じている。また、緩和医療に対する市民の理解度も低いと思う。けれど、医療だけでは在宅の終末期を支えることはできません。全体的に在宅サービスの人員不足や、サービス事業所も終末期の利用者を敬遠しているように見受けられます。終末期支援チームとして、各サービスが「手上げ」をして団結して取り組まなければならないですね。
- ・ 医師の不足
- ・ 循環器科がないため、早期受診に繋がりにくい。交通手段がない方は定期受診が難しい。
- ・ All 宗谷で取り組む姿勢ではないでしょうか。まち作り、過疎の問題ともリンクしますが、コロナ禍や自然災害での都会のリスク、田舎のメリットがはつきりしました。オンライン診療などIT技術の導入、交通アクセスの整備に加えて、都会と比べて住居費が意外とかかるのもネックになっていると思います。基本の生活費が安ければ集まる可能性は高まると思います。
- ・ 主要都市まで距離があるため、高齢者や子どもが医療をうけづらい。時間休では足りず、一日がかりでの受診になってしまう。
- ・ 脳出血、心筋梗塞等緊急性のある疾患もそうだが、妊産婦や小児も落ち着いているものしか対応できず市民からの不安もよく聞かれる。また、市立病院の医師がすぐ変わるため、患者との信頼関係が作りにくい。
- ・ 地域間の連携、役割分担
- ・ 病院一介護事業所、病院一病院、介護事業所一介護事業所、それぞれ事業所間で経営意識は必要だが、協力し合うこともよく考える必要があると思う。制度や人員問題、医療介護の質など、相互に協力しなければ医療介護の量、質ともに低下し、将来的に更に人の流出を招いてしまうことが考えられる。今一度、宗谷地域における医療介護の在り方について考え直す必要があると思います。
- ・ 交通網が不安定で欠航になったり運休が多い。そのため閉塞感を感じやすい。緊急的な疾患の疑いがあっても地元ですぐ検査出来ない。

(14) 宗谷地域の医療に欠けていると思うことを教えてください。(自由記載)

- ・ 心疾患等急性期治療が受けにくい。近隣の医療機関(名寄、旭川)までの距離に妨げられる。移動手段が少ない。特に冬場。夜間など、旭川の医療機関に移送したくても翌日にして欲しいと言われる事もあり、勤務シフトの組み直しの負担あり。急性期も診れる地域医療Drがいれば。地域に看護学校があるのに地元就職者が少ない。皆市立病院に行ってしまう。宗谷の医療機関は市立だけじゃないのに。学校の教師も学生に都会に出る事を勧めているようで、それでは地元に残る看護師が少なくて当たり前。この地域に学校がある意味って？
- ・ 賃金が少ない。の割に忙しい。
- ・ 医療と地域(予防)、介護が同じ方向で町民への啓発、ケア、指導をしていない事。同じ方向性が持てたら孤軍奮闘感がなく頑張れると思うから。
- ・ 働くスタッフ不足でより良い医療看護を提供できていないと思う。
- ・ 医師の不足

(15) その他

- ・ 公的、民間、クリニックそれぞれの医療機関の中身(職員数、医療サービス、風土)をもう少し見て欲しい。内情を理解しないで問題は見つからない。人の命を預かる職が、人を傷つけたり、自ら命を断つ職場であってはならないと思う。
- ・ 医療従事者は駒ではありません。医療従事者の確保だけでなく、地域の医療状況をふまえ医療従事者自身を支えることも必要かと思います。確保だけでは、宗谷地域に医療従事者は長く根付くことは難しいのではないかと考えます。地域医療について医療従事者から他職種への説明や理解をお願いすることも必要ですが、他職種の方々たちも地域医療機関のことなどご理解していただけると幸いです。宜しくお願いします。
- ・ 過疎化によって、病院経営は厳しいのは当たり前なので、今後どうするかを具体的に且つ実現可能な未来を職員に提示できなければ、この地域に固執する必要は全くなく、大きな都市への人口流出に繋がると思います。